

## は し が き

新学習指導要領に基づく新教育課程が各学校でいよいよ展開されます。教育課程の展開を通して、変化する社会に自ら対応できる豊かな心と、確かな学力をもった児童の育成が要請されているところであります。そしてまた、自らの生き方や在り方を求め、自己実現につながるよう、生涯にわたって学び続ける力を向上させていくことが極めて重要な課題となっております。

学校図書館には、児童の自主的主体的な学習を推進し、教育課程の展開に寄与することが求められております。この求めに応えるためには、学校図書館の機能を発揮した運営の在り方や機能活用ができる児童を育成することがなによりも肝要です。

しかし、学校図書館の現状は、長い間「読書指導」が中心でありました。これはこれで重要なことでありますし、それ相当の成果を上げているところであります。しかしながら、新学習指導要領の趣旨を具体化するためには、学校図書館の機能である「資料センターとしての機能」と「学習センターとしての機能」の活用ができる児童の育成が差し迫った課題であります。学校図書館の機能を活用できる児童というのは、情報を活用できる児童です。社会の変化に自ら対応できる豊かな心と、確かな学力を生涯に渡って求め続けられる人は、情報を収集し、活用し、伝達し、保存できる人であります。

本双書は、学校図書館の機能を活用できる児童を育成するには、どのような授業をしなければならないかを実践的に解明したものです。このような研究は全国的にみてもまだ手がつけられた段階のものです。本書をてがかりに各学校で研究が進められ、情報センターとしての図書館が一層活性化することを願うものであります。

平成4年3月

新潟県立教育センター

所長 海 藤 是 夫